

「みんなが楽しめる活動を  
何かしたい」人のきっかけに

レポートの第1回目は、3年ほど前から大通り公園の清掃をしている「Love & Green Yokohama」。毎月第三土曜日の朝 10:30 からという活動時間に合わせ、休日の朝に眠い目をこすりながら集合場所へ伺ってみると、すでに 50 名を超える方が！ その中でもひときわハキハキ、笑顔で楽しそうに話をしてくださったのは広報担当の松崎さん。最初は顔見知りの 10 名くらいから始め、大勢の方に参加してもらえるようにまでなった、活動の工夫と秘訣を伺いました。

## ◆持ち物なし・軽食あり “至れり尽くせり” の清掃活動

Love & Green Yokohama の活動は、横浜市の中心部に位置する大通り公園を清掃することですが、集合場所に集まった参加者はみな手ぶら。活動を始める前に、ゴミ袋はもらえるし、軍手も貸してもらえ。清掃活動の後には軽食が出るなど、至れり尽くせり。これなら誰でも気軽に参加できそう。

集まった参加者の中には相模原から来る方もいますが、多くの方は近隣か、電車で一本で来られる範囲に住む、20～30 代くらいの社会人。夏休みや冬休みになると、学校の課題か何かと思われる中学生や高校生の参加も増えるそう。

清掃活動の準備ができれば、リーダーを筆頭に 10 名ずつ程度のグループに分かれて、いざ出発！ 全長約 1.2km の大通り公園のゴミを、端から端まで拾っていきます。

実際に活動の様子をうかがっていると、かなり細かなゴミまで丁寧に拾ってくださる方も・・・

「一度拾い始めると、ゴミを見つけることが楽しくなってきてしまうんですね（笑）」

とは松崎さんの談。最近、活動を始めた頃と比べると大通り公園内のゴミが減ったため、公園外へゴミを求めて(?)行くこともあるんだとか。

## ◆さまざまなサポートあつての活動

大勢の参加者がいるので、30分から1時間もあれば公園はきれいすっきり。各人が集めたゴミは、分別して大きなゴミ袋にまとめて置いておきます。そうすれば、活動を始めるにあたって相談・申請に行った横浜市の協力で、収集車が回収に来てくれるんだそうです。また、活動後の軽食の提供に必要な備品も、普段は近所で事業を営んでいる方の倉庫に置かせていただいているんだとか。「こういったご協力は本当に有難いです」とおっしゃっていました。

ちなみに、運営に必要なお金は、小口の寄付や、活動の最後に毎回お願いしている募金で賄っているとのこと。大口や特定のスポンサーは付いていないが、毎回かかる支出はゴミ袋や軽食程度で軍手も使い回しているため、あまりお金はかからず、寄付や募金で十分なんだそうです。

## ◆友達を誘いたくなる「充実感」と「楽しさ」

——「自分も何かしたい」人のきっかけに

活動に多くの方に参加していただいていることについて松崎さんは、  
「世の中でこれだけ『エコ』や『社会貢献』という言葉が取り上げられている中で、ゴミ拾いというわかりやすく気軽に参加できる活動が、『自分も何かしたい』と思っている人のきっかけになっているのかもしれないね。中学生や高校生にとっては、参加者に若い人が多いことも、この活動に来てくれる理由の一つかも。」

また、今回取材をしていて一番驚いたのは、「何でこの活動を知ったのか」と、松崎さんを含めた誰に聞いても、答えは「友人に誘われて」だったこと。ある方々は「友達に誘われて参加してみたら、土曜の朝から動くことが意外と気持ちよかったので、自分も誘ってみました」と話し、その誘われたお友達も「やっぱり気持ちよかったです（笑）」と話してくれました。

松崎さんたちも、

「一度来てくれた方々にまた来てもらえるよう、活動を楽しんでもらえるように心がけています。」  
とのこと。ゴミ拾いの後に軽食を出したり、講師を招いてエコ談義をしていただいたり、ゴミの分別に関するエコクイズを出したり、というイベントはその一環。参加された方にとって、この日の軽食「ポトフ」のように、寒い日に体が温まる軽食は本当にうれしいそうです。





## ◆一人参加でも孤立しない工夫 「グループ分け」と「リーダー制」

その一方で、ここ1年くらいはブログなどを見て一人で参加される方も増えてきているそう。一人で来るとなると、参加者の中で孤立してしまわないか不安になりそうですが・・・

「初めて参加された方が孤立することがなく、『あの人たちとやれて楽しかった』『迎え入れてもらえた』と思ってもらえるように、元々仲の良い人たちが集まり過ぎないように、こちらでグループ分けをさせていただいています。あと、初めて来られた方への気配りができるよう、リーダーは何回か参加したことのある方をお願いしています。」

このレポートを読んで参加してみたいと思った方も、これならば心配なさそうですね。

## ◆清掃活動をベースに、かつ地域活動の「入口」に

また最近では、大通り公園での清掃活動だけでなく、有志が集まって、イセザキモールで開催されるイベントの前に清掃活動を行い、活動を紹介するブースを設けたり、日枝神社の催しの手伝いなどもしているそう。

9月には、関内・みなとみらい地区で行われたカーフリーデーのお手伝いにも参加。取材の日に勉強会で話をいただいた方や他のスタッフさんは、その時に知り合った方々だとか。

「いろんな繋がりが出来てくるのはうれしい」

と語る松崎さん。今後は、カーフリーデーで知り合った方にエコグッズの作り方を教えていただいたり、さらにそれを作る会を催したり、ということもやっていきたいそうです。

エコグッズの販売などは考えておらず、「清掃が活動のベース」ながら、

「地域活動の入口の一つとして、流動的なプラットフォームのようになれるといいですね。」

とも語ってくれました。

ぜひ、Love & Green Yokohama の活動から、地域活動の一步を踏み出してみたいはいかがでしょうか。

